

**製品名: HIF1AN マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM86090**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,ICC 1:25-1:50
分子量	40.3kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HIF1AN
別名	Hypoxia-inducible factor 1-alpha inhibitor, 1.14.11.30, 1.14.11.n4, Factor inhibiting HIF-1, FIH-1, Hypoxia-inducible factor asparagine hydroxylase, HIF1AN, FIH1
遺伝子 ID	55662.0
SwissProt ID	Q9NWT6
免疫原	この HIF1AN 抗体は、ヒト HIF1AN の 1 ~ 349 個のアミノ酸からなる KLH 結合合成ペプチドで免疫化されたマウスから生成されます。

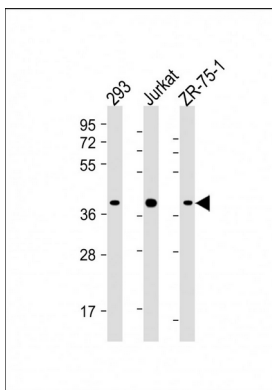
**背景**

HIF-1 $\alpha$ のC末端転写活性化ドメイン (CAD) の「Asp-803」を水酸化します。酸素センサーとして機能し、常酸素条件下では、水酸化により HIF-1 と Cbp/p300 相互作用転写活性化因子などの転写共活性化因子との相互作用が阻害されます。HIF1A、VHL、ヒストン脱アセチル化酵素との相互作用により転写抑制に関与します。NFKB1、NFKBIA、NOTCH1、ASB4、PPP1R12A、およびその他のいくつかのARD含有タンパク質のアンキリンリピートドメイン (ARD) 内の特定のAsn残基を水酸化します。また、ANK1とTNKS2のARD内のAspおよびHis残基をそれぞれ水酸化します。NOTCH1活性を負に制御し、筋分化を促進します。ASB4活性を正に制御し、血管分化を促進します。

## 研究分野

-

## 画像データ



全レーン：抗 HIF1AN 抗体 (C 末端) 1:4000 希釈